

3-1 ジルコニアクラウンの接着



通法にしたがい仮着材・仮封材除去、窩洞・支台歯の清掃、防湿等を行ってください。



直接充填

セメンテーション

支台築造

リヘア

知覚過敏の処置

歯面コーティング

- 1 試適後、
サンドブラスト処理※1。
超音波洗浄・乾燥



- 2 「クリアフィル® セラミック
プライマー プラス」塗布・
エアブローで乾燥



- 3 「パナビア® V5 トゥース
プライマー」塗布※2、
20秒処理後エアブロー
で乾燥



- 4 クラウンまたは窩洞内に
ペースト塗布

操作時間

操作時間 (23℃)	2分
ペーストを窩洞内に塗布した場合の操作時間 (37℃)	60秒



- 5 装着・余剰セメントの除去

光照射で半硬化させる 除去法	又は	小筆による除去法
<ol style="list-style-type: none"> 1 余剰セメントに1ヶ所につき 3~5秒光照射 <p>3~5秒 オーバーク</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1 余剰セメントを小筆等で 除去
<ol style="list-style-type: none"> 2 探針等で除去 		<ol style="list-style-type: none"> 2 マージン部に光照射 <p>マージンに光</p>

光照射については下記表をご参照ください。

- 6 最終硬化 (3分保持)※3

照射器と照射時間の関係

分類	照射時間
高出力LED照射器	(3秒又は5秒)×2回
LED照射器	10秒
ハロゲン照射器	



光量についてはP.2を参照ください。

POINT

- ※1 アルミナ粒子径、及びサンドブラストの圧力は補綴装置の電子添文等にしたがってください。
- ※2 支台歯 (歯質、レジンコア、メタルコア) の一括処理が可能です。
- ※3 光を透過する補綴装置の場合はクラウン全体への光照射 (照射器と照射時間の関係参照) による最終硬化も可能です。ただし、オーバークは光照射での最終硬化は行えません。